

Labo News

らぼ ニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 梶山広美
 編集人 山田 真

No.403 目次

- ◆検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会を開催して……………(2)
- ◆2015春日井健康救急フェスティバル参加報告……………(4)
- ◆平成27年度管理運営研修会告知 ……(4)
- ◆地区だより……………(5)
- ◆尾張北地区・生殖医学研究班合同研修会…(5)
- ◆基礎講座・研究会……………(6)
- ◆第17回愛知県医学検査学会のご案内 …(8)

第17回愛知県医学検査学会開催にあたり

学会長 堀出 剛

第17回愛知県医学検査学会は尾張西地区担当で開催いたします。木曾川に沿って濃尾平野の肥沃な土地が広がるこの地区は、今でも田園風景が広がるのどかな地です。史跡・古社名刹も多く、花の名所を訪れたり祭りやグルメを楽しんだりするのもお勧めです。魅力満載、見所いっぱいこのエリアへ機会がございましたら是非、足をお運びください。

さて、この度、第17回愛知県医学検査学会を平成28年6月5日(日)に名古屋文理大学文化フォーラムならびに稲沢市民病院で開催します。学会のメインテーマは「目指せ！本物のスペシャリスト」、サブテーマを「チーム検査室」と題して開催します。医学の進歩はめざましく医療環境は絶えず変化しており、我々臨床検査技師に求められる業務は、より高度なものとなっています。時代に即した臨床検査技師として常に新しい知識を習得し、専門技術を研鑽することは言うまでもありません。専門技師制度も定着し、各施設では専門分野を極めた高いスキルを備えた技師が活躍されており、誇らしくも尊敬の念を抱きます。昨今、日臨技では検体採取や検査説明の導入、チーム医療の更なる推進を求められており、我々臨床検査技師は、専門分野に特化した技師であることに加え、臨床検査全般に広い知識を備えた技術者であることが望まれます。そんな中、今回の学会のテーマは、「検査のスペシャリスト」とはどういった人物を指すのかという素朴な疑問から生まれた。シンポジウムでは、「スペシャリストと呼ばれる技師は、何をすべきなのか」というテーマを掲げて演者、ナビゲータの技師、フロアの皆様方と一体となり、様々な意見を頂戴してひとつの結論または提言を導いて参りたいと思います。臨床検査全体を広い視点で、様々な角度から模索して理解することで、本当の意味でのスペシャリストを考察し、さらに多岐の分野に渡る検査室の総合的なチーム力を結束して未来に推進する事を今回の学会の趣旨と考えております。どうぞ奮ってご参加ください。

また、公開講演では、福井新聞社特別参与の五十嵐利幸氏をお迎えして臓器提供を行った家族の思いを語っていただく予定です。盛り沢山の企画を用意してお待ちしております。是非とも多くの方のご参加をお願い申し上げます。

検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会を開催して

組織部長 岩尾 文彦

平成27年8月22日(土)、23日(日)の二日間、国立病院機構 名古屋医療センター管理棟5階講堂において開催致しました。この講習会は3年間で300名の受講生を目標として計画されております。昨年は114名と平均を上まわりましたが、今年は60名と大きく割り込んでしまいました。来年は126名を目標に開催致しますので、会員諸氏の積極的な受講を節にお願いしたいと存じます。

さて、この育成講習会のプログラムは全国同様の企画で開催されており、過去の経験や例を通して臨床検査技師として患者さんに検査説明や相談について、どのような対応が望ましいかを体得していただく絶好の機会となっています。また、臨床検査技師が説明や相談といった新たな業務への期待や不安と同時に検体採取を含め、我々に課せられた課題は多分にあり、その重圧は誰もが感じるのではないかと

思います。講師の名古屋医療センター院長の直江先生からは「検査のプロとして自信と膨大な情報から科学的かつ合理的に判断する能力をもち、医療チームの一員として提案できる役割を果たすことが重要とである」と説かれました。

我々は、もう後戻りもできない環境に身を置いたと自覚し、臨床検査を生業とする技師が患者さんや顧客である診療側に積極的に貢献することはやりがいにも通じると信じています。

今回は機材等の不備がありご迷惑をおかけしたことについて謝罪致します。

来年は、今年の実績を踏まえ、準備等に万全の体制で臨みたいと思います。

最後に、開催にあたって講師を快くお引き受けいただいた先生方、企画や実務にご協力頂いた委員の皆様は紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。



2015 春日井健康救急フェスティバル参加報告

組織部長 岩尾 文彦

9月6日(日)春日井市総合体育館において、「2015 春日井健康救急フェスティバル」が開催され、愛臨技は「がん細胞を見てみよう」という企画で参加させて頂きました。

当日は、あいにくのお天気で予定されていたイベントも幾つか中止を余儀なくされました。例年ですと、5～6千人の来場者があるとのことでしたが目測では半数にも満たないような印象でした。我々のブースには190名の方が訪れ、ごった返すほどの集まりではなかったのですが、顕微鏡の前には熱心に

がん細胞を見る方や頬粘膜から細胞を採取し染色してから、モニターで投影して細胞の説明を受ける方など、切れ目がありませんでした。対応していた実務委員からは、「過去にがんに罹患した方、治療中の方々など宛ら検査説明の実践をしているようで様々な問いに答えることや接遇の実践に大変勉強になった」との感想も聞かれました。愛臨技では、公益活動の一環として、このようなイベントに今後も参加していきますので会員諸氏のご協力を宜しくお願い申し上げます。



平成27年度管理運営研修会 告知

日 時：平成27年11月28日(土) 15:00～17:00

場 所：(株)スズケン名古屋支店

テ ー マ：『臨床検査に迫る国際標準化について』

15:00～15:50

1. CAPとISO15189について

演者 未定 決定次第、HPにて告知致します。

16:00～17:00

2. PHCと日本版CLIAの可能性

演者 小山田温泉記念病院 小児リハビリ科

登 勉 先生

主 催：公益社団法人 愛知県臨床検査技師会

愛知県臨床検査技師長協議会



—小牧市民病院 新病院建設基本設計—

小牧市民病院 臨床検査科 大野 則仁

小牧市民病院は、平成31年（2019年）春頃、新病院オープン予定です。

昭和60年2月、第1期工事において、現在の建物が完成して以来、5期に渡る増改築工事を経て現在に至っております。

今年で30年余りを経過し、様々な問題が浮上してきております。施設・設備の老朽化・陳腐化、狭あい化による医療機能の制約と療養環境の低下（病棟アメニティー環境の劣悪化等）、段階的整備による院内経路の複雑化、トータル機能の非効率化、さらに外来用駐車場不足など、直面している現在の問題点です。これらの問題を解決し、当院が担う尾張北部医療圏の中核病院として、三次救急病院、がん拠点病院、災害拠点病院、エイズ拠点病院、周産期医療病院、臨床研修指定病院の役割を果たし、より良い医療サービスを提供するため新病院の建設を進めています。



昨年8月下旬より作業に着手し、院内組織の新病院建設推進本部を立ち上げ、基本設計を策定しワーキンググループの元、実施設計を進めています。

地域の基幹病院として、救急医療を中心とした政策的医療を継続的に担うと共に、重要疾患への対応や高度医療・チーム医療への取り組みをより一層強化して参ります。

新小牧市民病院…期待して下さい。厳しい眼で見えて下さい。必ず期待通りの最高の病院が完成しますから…（笑）

尾張北地区・生殖医学研究班合同研修会

日時：平成27年11月29日（日） 15：00～17：00

場所：(株)スズケン名古屋支店 2階会議室

テーマ：1 緑内障のスクリーニング

－ 検診で早期発見－

2 不妊治療の現状

－ 一般不妊治療と体外受精－

講師：1 キャノンマーケティングジャパン株式会社
医療ソリューション推進部

主席スタッフ 山村 義昭 氏

2 小牧市民病院 臨床検査科

体外受精コーディネーター

藤田 京子 技師

司会：小牧市民病院 臨床検査科 大野 則仁

内容：失明する要因としてまず挙げられるのが、緑内障という疾患です。しかし早期に発見することができれば最悪の状態を回避することができます。検診による早

期発見！まずは緑内障を知り、検診受診状況、眼底カメラ等でわかることなどを今回の研修会にてご教授していただきます。

また生殖医学では、不妊治療について取り上げます。近年日本では、女性の社会進出やライフスタイルの多様化などによる晩婚化、出産の先送り（晩産化）が見られます。これらの背景を受け不妊症は確実に顕著に増加しており、積極的に不妊治療を受けるカップルも増えていきます。社会的にも注目されている“不妊”について広く知っていただくためにも是非一般の方々をお誘いいただき多数の参加をお願いいたします。

基礎講座

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成27年12月6日(日)

9：00受付～16：00

場所：名古屋市立大学医学研究科 医学部研究棟
11階講義室B及び2階会議室

テーマ：明日から使える脳波の知識と技を学ぼう

司会：JA愛知厚生連 江南厚生病院

柴田 康孝

1) 「脳波検査の基礎」

講師：西尾市民病院

鈴木 更織

2) 「脳波を読もう！」

講師：総合大雄会病院

西谷由美子

3) 「明日から使える電極装着のコツ」

講師：名古屋市立大学

久富 一毅

4) ランチョン講演

「デジタル脳波計の基礎と便利機能」

講師：(株)日本光電 ソリューション部

佐古 和彦

5) 「みんなで考えよう！脳波検査の総復習」

講師：豊橋市民病院

手嶋 充善

内容：初心者の方を対象とした講義・実習を開催します。午前の部では脳波の基礎からレポートの書き方、電極装着の巧みの技などわかりやすく講義を行い、午後の部として機器3台とマネキンを使用して電極装着のコツやデジタル脳波計の便利な機能の実習を行います。始めたばかりの方、これから始めようという方は是非ご参加下さい。また、今回はランチョン講義として“デジタル脳波計の基礎と便利機能”（軽食付き）も企画しております。実習に使用しますので各自、脳波スケールを持参して下さい。

定員：40名（対象：初心者）

参加費：合計：4,000円

申込方法：以下の項目を全て記入の上、メールにて下記のアドレスへ申し込みください。

1. 申込者名
2. 施設名
3. 会員番号
4. 施設住所
5. 連絡先E-mailアドレス（携帯メールは不可）
6. 脳波経験年数

申し込み先：

E-mail kisokouza2015_nerve@yahoo.co.jp

1メール1名でお願いします。（同一メールアドレスから申し込みは可）

申し込み開始は、11月1日(日)より

備考：申し込みの受領及び日程の詳細についてはE-mailでご連絡します（申込みが多数の場合、同施設での参加者数に制限や聴講のみとさせて頂く場合があります）。愛臨技主催のため愛知県技師会員が優先されます。なお、空席があった場合には県外会員の申し込みを受付いたします。受付メールにて参加費振込み口座を連絡します。受付メール確認後、1週間以内に振り込んでください。

*振込み手数料は各自ご負担ください。

振込み後の参加費の返却はいたしません。但し、参加者の変更は可能です（要連絡）。

申込締切：平成27年11月18日（定員になり次第締め切り）

連絡先：総合大雄会病院 技術検査科

西谷由美子

TEL：0586-72-1211（内線2361）

※16時～17時半の間でお願いします

基礎講座

生殖医学検査研究班

専門教科：20点

日時：平成27年12月6日(日) 10：00～15：00

場所：藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院
2階 第3会議室

テーマ：「未受精卵の凍結保存」

内容：未受精卵の凍結保存 講義・実習

フリーディスカッション

昨今、がん患者さんのQOL、妊孕性温存が非常に注目されています。そのような背景を受け、今回の基礎講座では、未受精卵凍結保存の原理・手技の解説、実習を行います。

フリーディスカッションでは、胚の凍結のみでなく、生殖業務全般について意見交換します。問題点、疑問点などありま

したら事前にmailでお知らせください。
講師：(株)北里コーポレーション 窪田 昌広
司会：豊橋市民病院 鈴木 範子
参加費：無料
参加人数把握のため、参加希望される方は下記まで施設名、氏名をご連絡ください。
小牧市民病院 臨床検査科 藤田 京子
mail：seisyoku271206@gmail.com
TEL (0568) 76-4131 内線5283

名古屋第一赤十字病院 郡司 昌治
司会：愛知県がんセンター中央病院 柴田 典子
内容：血液内科医、血液担当技師、遺伝子担当技師が一堂に会し、「悪性リンパ腫」を様々な角度から診断していく研究会を開催します。新人にもわかりやすい基礎知識、中堅にはベースアップの専門知識、ベテランには新たな学術的な知識を得る良い機会になればと思います。興味のある方、奮ってご参加ください。

研究会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点
日時：平成27年11月14日(土) 15:00～17:00
場所：(株)カーク本社
名古屋市中区丸の内3-8-5
テーマ：個別化医療の理解を深める
講師：「免疫染色によるALK融合遺伝子陽性肺癌の診断」
(株)ニチレイバイオサイエンス
分子診断薬事業部 長嶋 健二
「ALK阻害剤 / 抗HER2療法による個別化治療戦略」
中外製薬株式会社
オンコロジー製品政策部 古株 靖久
司会：名古屋市立大学病院 山田 貴之
内容：個別化医療の理解を深めるには、コンパニオン診断薬と分子標的薬の双方の理解が不可欠と思われまます。今回、ALK融合遺伝子陽性肺癌ならびに分子標的薬の講演を企画しました。多数の参加をお待ちしております。

研究会

遺伝子染色体・血液検査研究班 合同研究会

専門教科：20点
日時：平成27年11月14日(土) 15時から17時
場所：名古屋大学医学部基礎医学研究棟第三講義室
テーマ：血液・遺伝子染色体検査から見た悪性リンパ腫
講師：藤田保健衛生大学医学部 血液内科学教授
岡本 昌隆
藤田保健衛生大学病院 佐藤 聖子

研究会

生理検査研究班

専門教科：20点
日時：平成27年11月21日(土) 15:00～17:00
場所：名古屋第二赤十字病院 研修ホール
テーマ：やりなおしCOPD！
講師：1. COPDの基礎
東海記念病院 宮田 真希
2. 肺機能検査時のポイント
～ COPD編～
公立陶生病院 大竹 悦子
3. 呼吸リハビリテーションを体験しよう
公立陶生病院 理学療法士 平澤 純
司会：半田医師会健康管理センター 山口 温子
内容：呼吸リハビリテーションは呼吸機能の維持や症状の軽減に効果があり、現在COPD患者に対しても、積極的に取り入れられています。リハビリで実際に行われている「ストレッチ運動」も体験していただく予定です。是非ご参加ください。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。
会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。
申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

第17回 愛知県医学検査学会のご案内

開催日時：平成28年6月5日(日) 10時00分から
 会場：名古屋文理大学文化フォーラムならびに
 稲沢市民病院
 〒492-8145稲沢市正明寺3丁目114番地
 Tel：0587-24-5111
 名鉄国府宮駅から徒歩15分
 名神高速道路一宮インターチェンジ下車
 15分

受付：名古屋文理大学文化フォーラム2F
 大ホールホワイエ 9時15分開始
 担当：公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 尾張西地区

学会長：堀出 剛 (名古屋掖済会病院)
 副学会長：山田 滝彦 (JA愛知厚生連稲沢厚生病院)
 実行委員長：奥地 立樹 (稲沢市民病院)
 事務局長：坂下 孝 (一宮市立市民病院)
 学会テーマ：「目指せ！本物のスペシャリスト
 ～チーム検査室～」

学会内容：一般演題発表、ランチョンセミナー、
 シンポジウム、公開講演

参加費：2,000円

参加資格：資格は問いません。他職種や賛助企業の方などを広く募集します。

演題申込期限：平成27年12月24日(木) 必着

抄録締切：平成28年1月29日(金) 必着

演題申込方法：メールでの申込みのみとさせていただきます。下記の申込事項を記入し送信してください。

- ①地区名 (技師会員のみのみ) ②施設名
- ③演題名 ④発表者名 ⑤電話番号
- ⑥E-Mail (携帯アドレス不可)

申込先E-Mail：17aichi@kainan.jaaikosei.or.jp

演題を申し込まれた方には、演題登録確認メールと抄録テンプレートを送信します。

申込後、1週間以内までに演題登録確認メールと抄録テンプレートが届かない場合は、連絡先にお問い合わせください。

その他：学会終了後、公益社団法人愛知県臨床検査技師会祝賀会・懇親会を予定しております。

祝賀会・懇親会：

名古屋文理大学文化フォーラム小ホール
 ならびにレストラン

連絡先：第17回愛知県医学検査学会事務局

抄録担当：佐藤 良美

(JA愛知厚生連海南病院)

Tel：0567-65-2511 (内線4626)

E-Mail：17aichi@kainan.jaaikosei.or.jp

会場案内図

